

株式会社三ツ矢

<http://www.mitsuyanet.co.jp/>

企業プロフィール

- 本社所在地：東京都品川区西五反田 3-8-11 ●代表者：代表取締役社長 草間誠一郎氏
- 創立年：昭和6年 ●従業員数：302名 ●2008年3月に米沢工場、4月に五反田工場でエコステージ2取得

めっき業界で初めて MFCA を導入し、コストダウンを徹底。

背景・目的

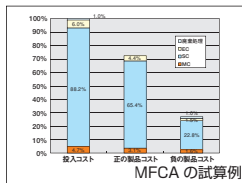
三ツ矢様は、各種電子・電気部品・自動車部品の高品質なめっき加工を手掛ける、めっき加工業界のバイオンニアです。工場は五反田、八王子、甲府、米沢の4拠点。めっき加工で重要な環境保全に積極的に取り組んでおり、既に五反田と米沢の工場ではエコステージ2を取得していました。長引く不況に直面した同社は、さらなるコストダウンを旨とし、従来とは異なる視点で「負の製品の見える化」を果たせるマテリアルフローコスト会計(MFCA)に着目。めっき業界で初めて導入しました。



五反田本社工場

活動内容

同社は、2つのメインラインの「金めっき」と「ニッケルめっき」を対象にMFCAの導入・検証を行い、徹底的に分析することで、ムダに対する具体的な数値を求めていきました。各プロセスのエネルギー使用量や人件費などは正確に分類することは困難でしたが、まずは従来の実績から適切と思える案分を行い、「負の製品の見える化」を実施。こうした分析により、「金めっき」と「ニッケルめっき」では、問題点があり、その改善方法も違うことがわかってきました。



効果

〈金めっきのライン〉

めっき材の金は高価で多くのロス回収処理を行うため、「負の製品」としてのマテリアルコストは少ないものの、お客さまの要求以上の「めっき膜厚」が予想以上の金額になることがわかり、日々技術研究を行っています。

〈ニッケルめっきのライン〉

めっき材の回収などに改良の余地があることがわかりました。また、加工費などの人件費を「見える化」することで、各部署における改善活動が進みました。

同社五反田工場長の鈴木善廣氏はこう語っています。「MFCAは設備投資をするための重要なデータとなります。今後は、他のライン、他工場にも展開していきたいと考えています」